

高等学校第1学年芸術科（美術I）学習指導案

指導者 教諭 植木 敬子

1 題材名 「春」(La primavera) の魅力に迫ろう～物語と画家の目に迫ってみよう～

2 題材の目標及び指導計画等（2時間扱い）

(1) 第1時

題材	「春」(La primavera) の魅力に迫ろう～物語と画家の目に迫ってみよう～	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 美術作品の背景や表現方法に関心を持ち、主体的に鑑賞しようとする。 (美術への関心・意欲・態度)</li> <li>○ 鑑賞から学んだ表現方法や意図を生かし、自分の表現方法を形体や色彩を考えながら工夫して表す。 (創造的な技能)</li> <li>○ 優れた作品に接し、自分の価値意識を持ち、よさや美しさ、作者の意図を感じ取る。 (鑑賞の能力)</li> </ul>	
準備資料	<p>&lt;教師&gt;プロジェクター，パソコン，学校の敷地内植物50本（20センチ程度にカットした枝），画用紙（B5程度）</p> <p>&lt;生徒&gt;教科書，ワークシート，鉛筆，アクリル絵の具，筆洗，筆，雑巾</p>	
指導計画	<p>「春」(La primavera) の魅力に迫ろう～物語と画家の目に迫ってみよう～ 全2時間</p> <p>第1時 作品やその背景をとらえながら鑑賞し、自分の価値観と照らし合わせる。</p> <p>第2時 作者と同じように植物をよく観察し、形体、色彩を考えながら表現を工夫する。</p>	
	学習内容及び活動	指導上の留意点 ◎は評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習課題と内容を知る。</li> <li>・ 教科書P.24から対象作品を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の今現在の知識を確認する。作品を基に学習内容を具体的に説明することで、活動への関心を喚起する。</li> <li>・ 作品の中に込められた、意図や物語性があることを伝え興味を持ち鑑賞や表現ができるようにする。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクターと教科書を見ながら、プリントの記入をしていく。</li> <li>・ 作品を見て最初の印象や感じたこと、発見したこと等を記入する。</li> <li>・ 題名から描かれていることを想像する。</li> <li>・ 登場人物がだれなのかを想像する。</li> <li>・ 作者，制作年，大きさ，保存場所について知る。</li> <li>・ 作品のあるフィレンツェについて知る。</li> <li>・ 作品を深く見ていき、自分の価値意識をもつ。</li> <li>・ 登場人物の会話を想像し、プリントにセリフを記入する。</li> <li>・ 植物に注目し、作者の視点に迫って画面を見る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の価値意識を大切にしながら、考えをまとめられるように助言する。</li> <li>・ 間違った感じ方はないということを伝え、数名発表させながら、話し合わせる。</li> <li>・ 芸術作品が大切にされていることが分かるよう資料を基に説明する。</li> <li>・ 登場人物と描かれている物語について説明し、自分の意見を深められるよう配慮する。</li> <li>・ 作品に込められた内容を理解した後に、一人一人のポーズや位置を考えて自分の考えが深められるよう支援する。また、想像する楽しみも味わえるようにする。</li> <li>・ 作品のよさであるもう一つの主役の植物に注目させ、作品の細部まで見ることができるよう指導する。</li> <li>・ 描かれた植物の写真を提示し、どのような見方で作者が植物を描いたのかを考えさせる。</li> </ul>

		<p>◎ 優れた作品に接し、自分の価値意識をもち、よさや美しさ、作者の意図を感じ取っている。</p> <p>鑑賞の能力（プリント、発表、観察）</p> <p>&lt;十分満足とするキーワード&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的な鑑賞，作者の意図する構成への興味，明確な自分の意見</li> </ul> <p>&lt;努力を要する生徒への手立て&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別に会話をしながら作品を見るポイントを細かく示し，それについてどう感じるかを導き出すような個に応じた助言を行う。</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習のまとめと次時の学習の確認をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな考えを称賛し，次時は自分で制作することを伝える。</li> </ul>

(2) 第2時

	学習内容及び活動	指導上の留意点 ◎は評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>「春」を再び見て前時の確認をし，さらに作者がたくさん植物を描いていたことを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が感じたことを再確認させる。資料を基に作者の観察力や視点を再び示し，制作への意欲をもたせるとともに自分の表し方に結び付けるようにする。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物を選び，画用紙に下絵を描く。</li> <li>使う色やアクリル絵の具による濃淡のある着彩について学習する。</li> <li>1色を選び，下塗りをする。</li> <li>植物をよく観察して着彩する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物をよく観察し，形体に注意しながら生き生きと描けるよう指導する。</li> <li>筆につける絵の具の量，水の量，色の作り方などを資料を基に説明し，色彩構成に工夫が見られるよう指導する。</li> <li>色が重なることによる効果を演示しながら説明する。</li> <li>部分による色の違い，光の当たる部分と影の部分の色の変化に着目させ，よく見ながら色彩の変化を工夫できるように支援する。</li> </ul> <p>◎ 鑑賞から学んだ表現方法や意図を生かし，自分の表現方法を形体や色彩を考えながら工夫して表している。</p> <p>創造的な技能（観察，作品）</p> <p>&lt;十分満足とするキーワード&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色の作り方や塗り方の工夫，光や陰影の色彩による描き込み，植物の形体の表現の仕方</li> </ul> <p>&lt;努力を要する生徒への手立て&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別指導を行い，絵の具の混ぜる量，水の量を実際に筆につけて示し，別紙に着彩しどのような感じになるのかを見せながら支援する。</li> <li>植物を観察するポイントを提示し，植物の柔らかい形の線が見つけられるようにする。</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習のまとめをする。</li> <li>片付けをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>着彩で身に付けるポイントを振り返り，工夫できたところを互いに話し合わせることで，今後の表現に生かしていく気持ちを育てる。</li> </ul>